

I 調査結果の概要

1 食肉流通の動向

(1) 豚

ア 豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,620万3千頭で、前年に比べ4.4%減少した(図1、表1)。

図1 豚と畜頭数の推移(全国)

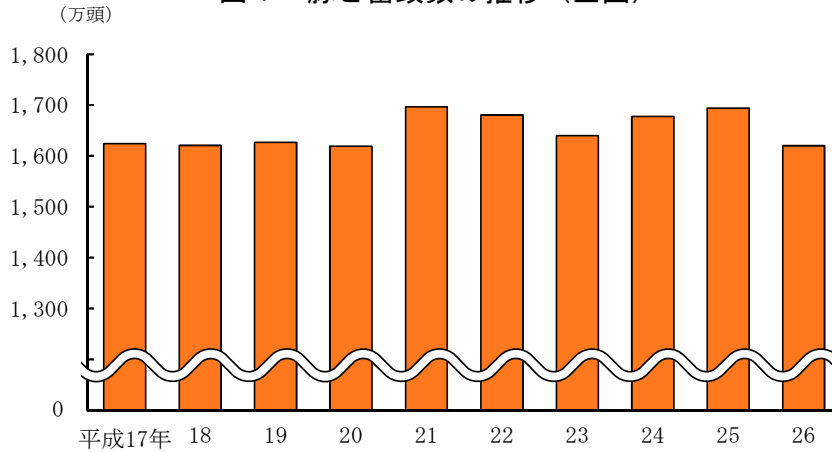


表1 豚と畜頭数の推移(全国)

区分	単位	平成17年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
実数	千頭	16,243	16,210	16,268	16,192	16,966	16,807	16,395	16,776	16,940	16,203	
対前年比	%		97.9	99.8	100.4	99.5	104.8	99.1	97.5	102.3	101.0	95.6

注：対前年比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.3%で、前年に比べ0.1ポイント上昇した(表2)。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の取引成立頭数は215万3千頭で、前年に比べ3.7%減少した。市場別では、中央卸売市場が93万頭、指定市場が122万2千頭で前年に比べてともに3.7%減少した(表3)。

表2 豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

区分	全国と畜頭数		食肉卸売市場 取引成立頭数	割合
	千頭		千頭	
平成25年	16,940		2,236	13.2
26	16,203		2,153	13.3

表3 食肉卸売市場における豚の取引成立頭数

区分	単位	計	中央卸売市場 取引成立頭数	指定市場 取引成立頭数
平成25年	千頭	2,236	966	1,270
26	〃	2,153	930	1,222
対前年比	%	96.3	96.3	96.3

注：四捨五入の関係で合計値と内訳の計は必ずしも一致しない（以下、各表において同じ。）。

ウ 豚肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が596円、「上」が562円、「省令」が562円、「中」が543円、「並」が510円及び「等外」が388円で、前年に比べそれぞれ9.4%、16.8%、16.8%、16.8%、19.3%、22.3%、35.7%上昇した（表4）。

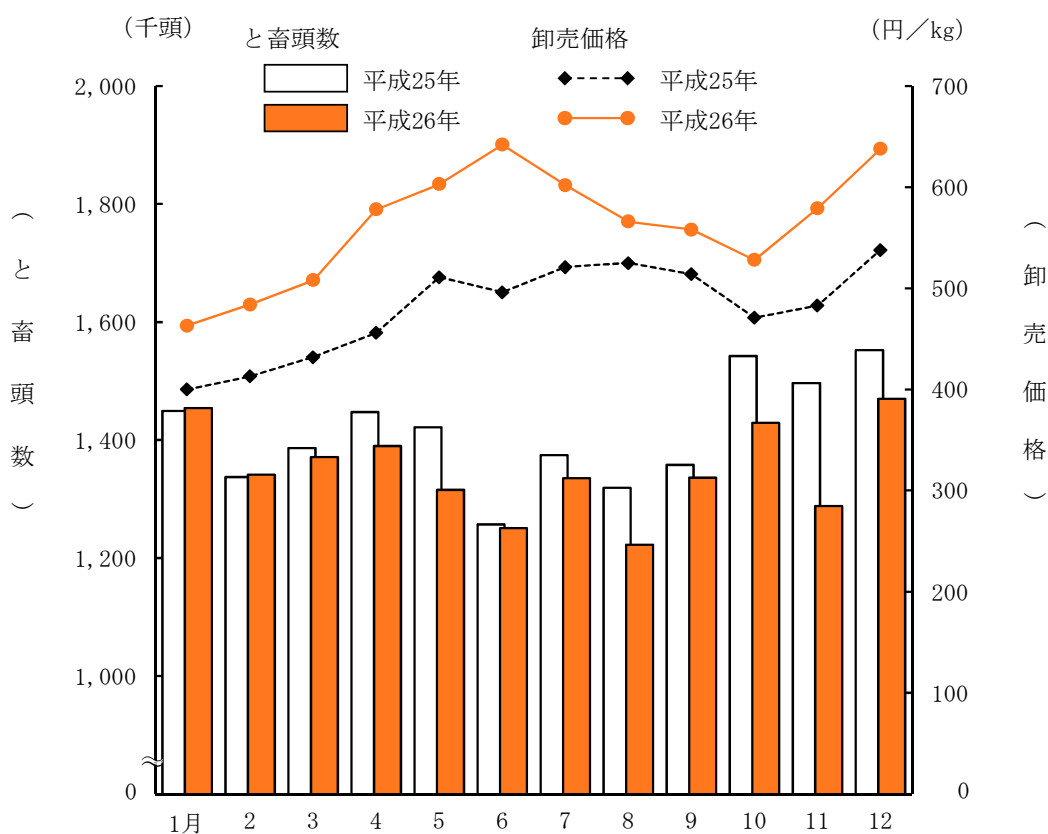
また、月別の卸売価格も、全ての月で前年を上回って推移した（図2）。

表4 豚肉の規格別卸売価格

区分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成25年	円/kg	545	481	481	455	417	286
26	〃	596	562	562	543	510	388
対前年比	%	109.4	116.8	116.8	119.3	122.3	135.7

注：1)は、「極上」、「上」を合わせたものである。

図2 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(2) 牛

ア 成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は115万頭で、前年に比べ2.4%減少した。

このうち、和牛は50万7千頭、乳牛は39万3千頭、その他の牛は1万3千頭で、前年に比べそれぞれ4.2%、2.0%、6.5%減少したが、交雑牛は23万6千頭で、前年に比べ1.4%増加した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は44.1%で前年に比べ0.9ポイント低下、乳牛は34.2%、交雑牛は20.5%で前年に比べそれぞれ0.1ポイント、0.8ポイント上昇、その他の牛は1.2%で前年並みとなった（図3、表5）。

図3 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

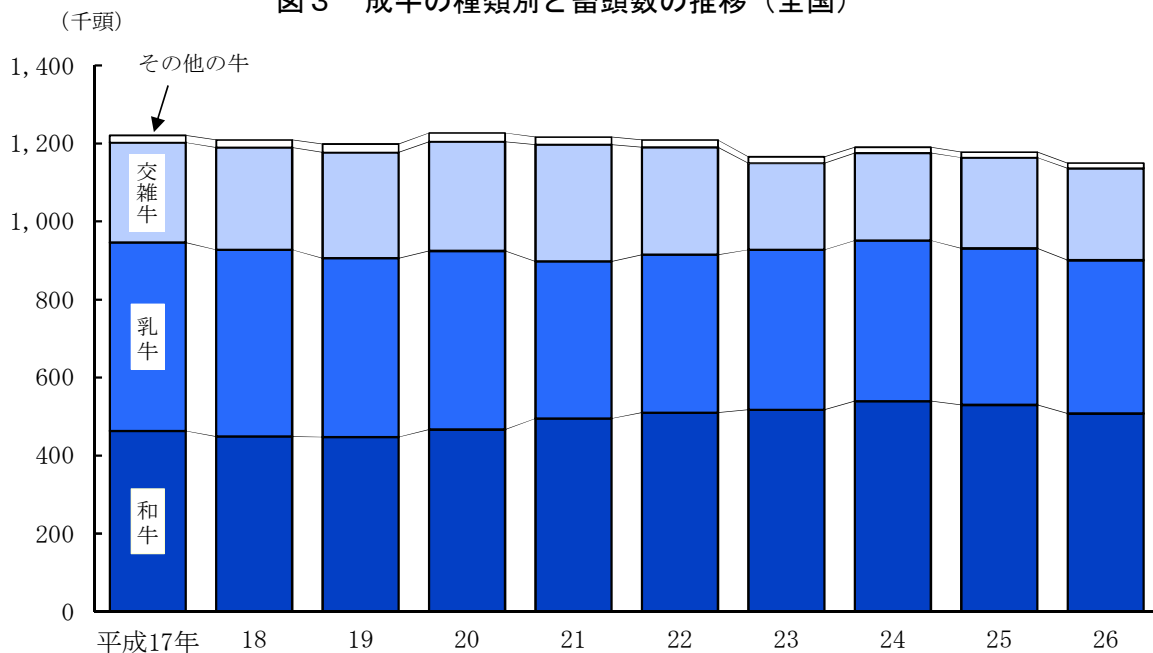


表5 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区分	単位	平成17年	18	19	20	21	22	23	24	25	26
と畜頭数											
成牛計	千頭	1,221	1,209	1,199	1,227	1,217	1,209	1,166	1,191	1,178	1,150
和牛	〃	463	449	448	467	495	510	518	540	530	507
乳牛	〃	483	478	458	458	403	405	410	411	401	393
交雑牛	〃	256	262	271	280	299	276	222	225	233	236
その他の牛	〃	19	19	22	22	20	18	16	15	14	13
対前年比											
成牛計	%	97.2	99.0	99.2	102.3	99.2	99.4	96.4	102.1	98.9	97.6
和牛	〃	99.7	97.1	99.6	104.3	105.9	103.1	101.5	104.3	98.1	95.8
乳牛	〃	98.1	99.0	95.8	99.9	88.1	100.4	101.3	100.3	97.6	98.0
交雑牛	〃	91.1	102.4	103.3	103.3	107.0	92.2	80.6	101.1	103.5	101.4
その他の牛	〃	102.5	102.4	114.6	101.0	88.9	92.9	86.9	93.4	96.0	93.5
構成比											
成牛計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和牛	〃	37.9	37.2	37.3	38.1	40.7	42.2	44.4	45.3	45.0	44.1
乳牛	〃	39.6	39.6	38.2	37.3	33.1	33.5	35.2	34.5	34.1	34.2
交雑牛	〃	21.0	21.7	22.6	22.8	24.6	22.8	19.1	18.9	19.7	20.5
その他の牛	〃	1.5	1.6	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2

注：1 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

イ 取引成立頭数

全国のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は35.2%で、前年に比べ0.3ポイント低下した（表6）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は40万5千頭で、前年に比べ3.0%減少した。

市場別では、中央卸売市場は29万8千頭で4.2%減少し、指定市場は10万7千頭で前年に比べ0.4%増加した。畜種別では、和牛は21万9千頭、乳牛は6万7千頭、その他の牛は1千頭で、前年に比べそれぞれ3.9%、6.3%、40.3%減少したが、交雑牛は11万8千頭で、前年に比べ1.1%増加した（表7）。

表6 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年次	全国と畜頭数	食肉卸売市場	割合
		取引成立頭数	
	千頭	千頭	%
平成25年	1,178	418	35.5
26	1,150	405	35.2

表7 食肉卸売市場における成牛の取引成立頭数

区分	単位	計	市場別		畜種別			
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	交雑牛	その他の牛
平成25年	千頭	418	311	107	228	72	117	2
26	〃	405	298	107	219	67	118	1
対前年比	%	97.0	95.8	100.4	96.1	93.7	101.1	59.7

ウ 牛肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

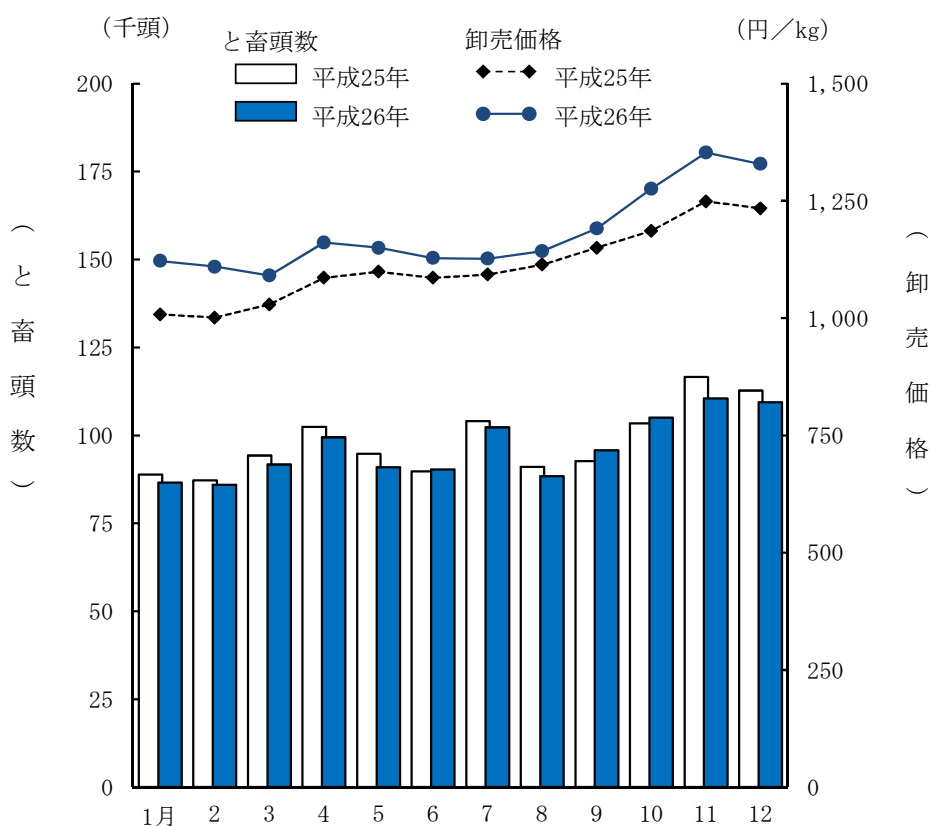
食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、全ての規格で前年を上回った（表8）。

また、月別の卸売価格も、全ての月で前年を上回って推移した（図4）。

表8 成牛の規格別卸売価格

区分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1
平成25年	円/kg	2,208	1,898	1,692	1,331	761	1,885	1,517	1,286	1,007	727	1,470	1,301	1,162	756	445
26	"	2,313	1,989	1,741	1,377	1,028	1,991	1,597	1,337	1,070	778	1,617	1,362	1,203	859	579
対前年比	%	104.8	104.8	102.9	103.5	135.1	105.6	105.3	104.0	106.3	107.0	110.0	104.7	103.5	113.6	130.1

図4 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



注：成牛の省令は、去勢牛の「B-3」、「B-2」を合わせたものである。

(3) と畜場数

豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数をみると、豚を処理したと畜場数は159場、と畜頭数は1,620万3千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は67場、と畜頭数は1,331万9千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ42.1%、82.2%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は140場、と畜頭数は115万頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は40場、と畜頭数は77万3千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ28.6%、67.2%であった(表9)。

表9 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数(全国)

区分	単位	豚					成牛				
		計	19,999頭以下	20,000～49,999	50,000～99,999	10万頭以上	計	999頭以下	1,000～4,999	5,000～9,999	10,000頭以上
と畜場数											
平成25年	場	157	39	22	27	69	142	26	36	41	39
26	〃	159	43	23	26	67	140	26	36	38	40
構成比											
平成25年	%	100.0	24.8	14.0	17.2	43.9	100.0	18.3	25.4	28.9	27.5
26	〃	100.0	27.0	14.5	16.4	42.1	100.0	18.6	25.7	27.1	28.6
と畜頭数											
平成25年	千頭	16,940	165	737	2,015	14,023	1,178	8	104	289	776
26	〃	16,203	177	750	1,957	13,319	1,150	8	103	267	773
構成比											
平成25年	%	100.0	1.0	4.3	11.9	82.8	100.0	0.7	8.8	24.5	65.9
26	〃	100.0	1.1	4.6	12.1	82.2	100.0	0.7	8.9	23.2	67.2

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

2 鶏卵流通の動向

(1) 生産量

鶏卵生産量は250万2千tで、前年に比べ0.8%減少した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が7.6%と最も高く、次いで千葉県が6.9%、鹿児島県が6.6%、広島県が5.3%、岡山県が5.0%の順となっている（図5、表10）。

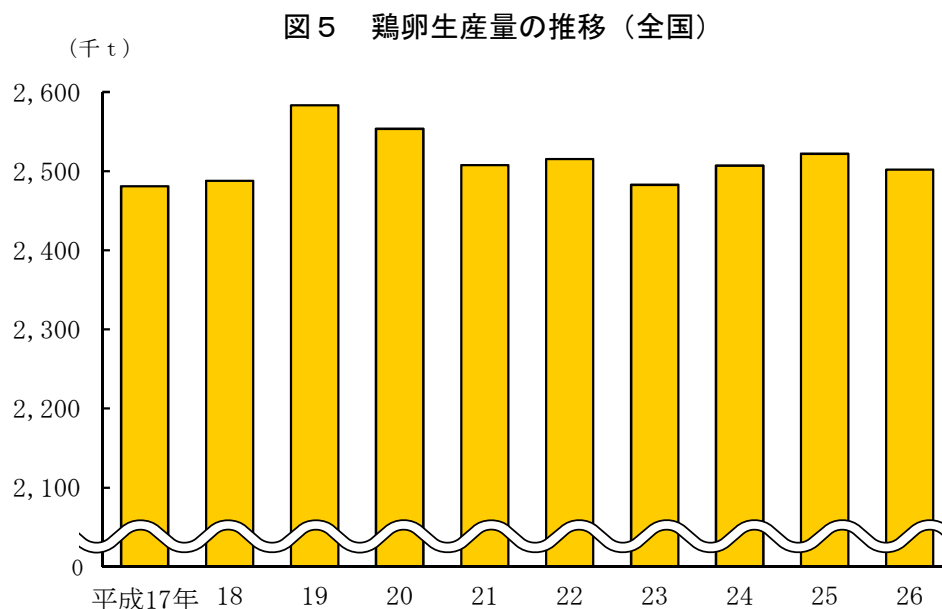


表10 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	平成26年 構 成 比
	平成25年	26		
	千t	千t	%	%
全 国 計	2,522	2,502	99.2	100.0
茨 城 県	203	190	93.9	7.6
千 葉 県	174	172	98.9	6.9
鹿 児 島 県	169	166	98.4	6.6
広 島 県	125	133	106.2	5.3
岡 山 県	126	126	100.4	5.0
愛 知 県	105	114	108.3	4.6
新 潟 県	112	110	98.3	4.4
北 海 道	105	106	100.6	4.2
青 森 県	96	96	100.4	3.8
兵 庫 県	83	82	98.9	3.3
そ の 他	1,224	1,206	98.5	48.2

(2) 出荷量

鶏卵出荷量は242万8千tで、前年に比べ0.9%減少した。

鶏卵の月別出荷量は、2月と7月は前年を上回ったものの、その他の月は前年を下回って推移した（図6、表11）。

図6 鶏卵の月別出荷量（全国）

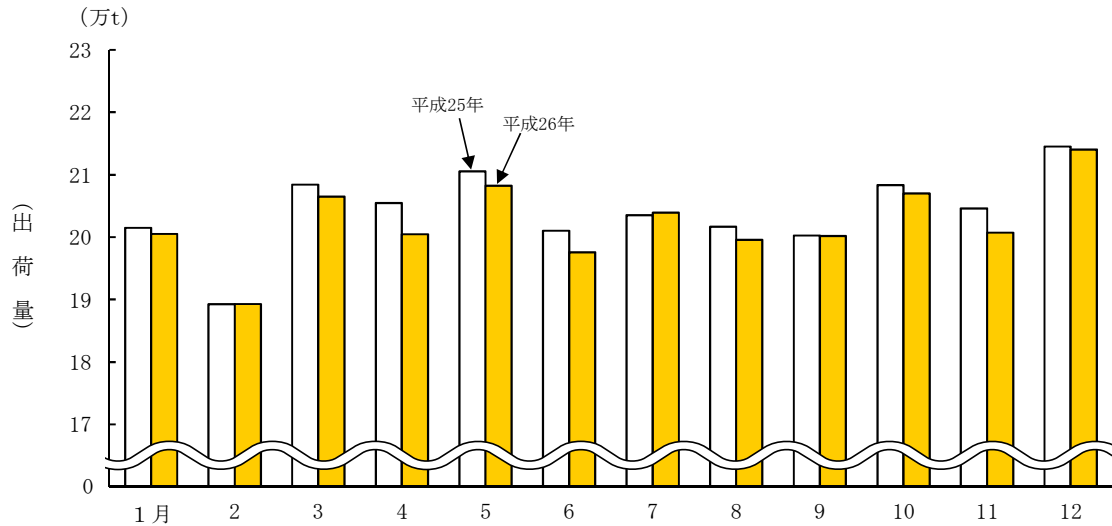
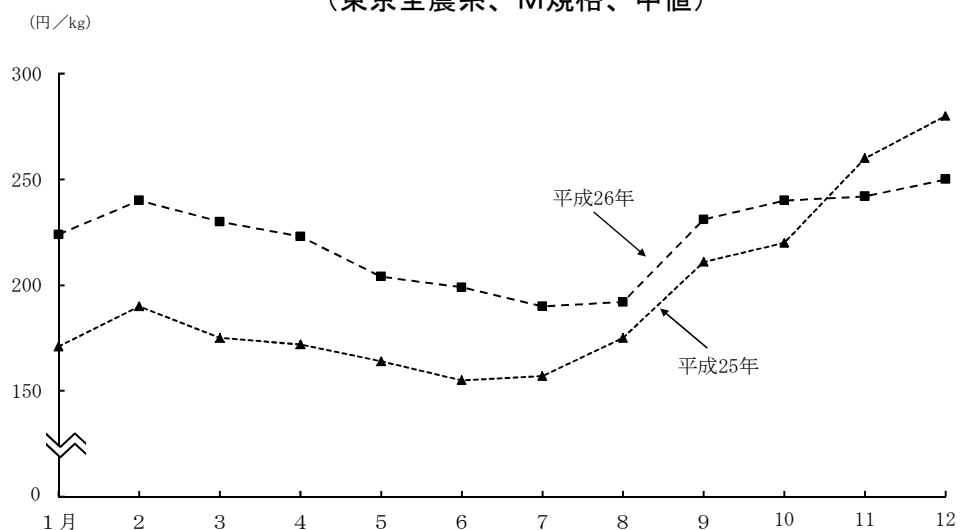


表11 鶏卵の月別出荷量（全国）

区分	単位	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	t	2,449,087	201,494	189,244	208,391	205,484	210,546	201,031	203,522	201,670	200,256	208,308	204,626	214,515
26	〃	2,428,008	200,515	189,278	206,473	200,493	208,244	197,576	203,914	199,568	200,173	207,005	200,709	214,060
対前年比	%	99.1	99.5	100.0	99.1	97.6	98.9	98.3	100.2	99.0	100.0	99.4	98.1	99.8

(参考) 卸売価格（鶏卵市況情報）

図7 鶏卵の月別卸売価格の推移
（東京全農系、M規格、中値）



3 食鳥流通の動向

(1) 処理量

全国の処理羽数は、肉用若鶏が6億6,103万羽、廃鶏が8,735万9千羽で、前年に比べそれぞれ1.1%、1.3%増加したが、その他の肉用鶏が836万5千羽で、前年に比べ0.5%減少した。

全国の処理重量は、肉用若鶏が194万6,449 t、廃鶏が15万5,219 t、その他の肉用鶏が2万6,517 tで、前年に比べそれぞれ2.2%、5.6%、0.7%増加した（表12）。

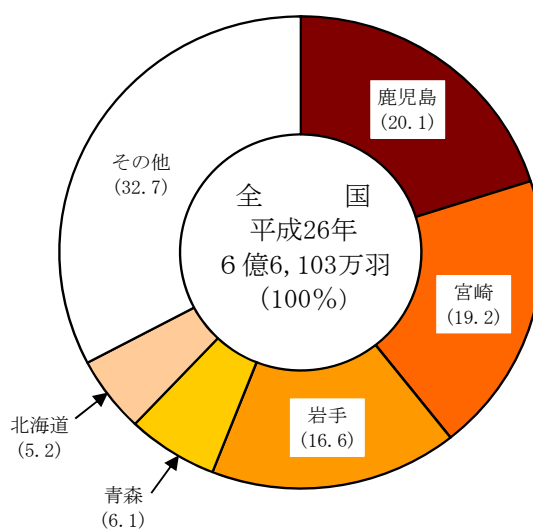
表12 食鳥処理量（全国）

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	廃 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏
処理量（生体）羽数				
平成25年	千羽	653,999	86,227	8,410
26	〃	661,030	87,359	8,365
対前年比	%	101.1	101.3	99.5
処理量（生体）重量				
平成25年	t	1,905,255	147,056	26,335
26	〃	1,946,449	155,219	26,517
対前年比	%	102.2	105.6	100.7

ア 肉用若鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、鹿児島県が20.1%と最も高く、次いで宮崎県が19.2%、岩手県が16.6%の順となっており、上位3県で全国の約6割を占めている（図8）。

図8 肉用若鶏の都道府県別出荷羽数割合

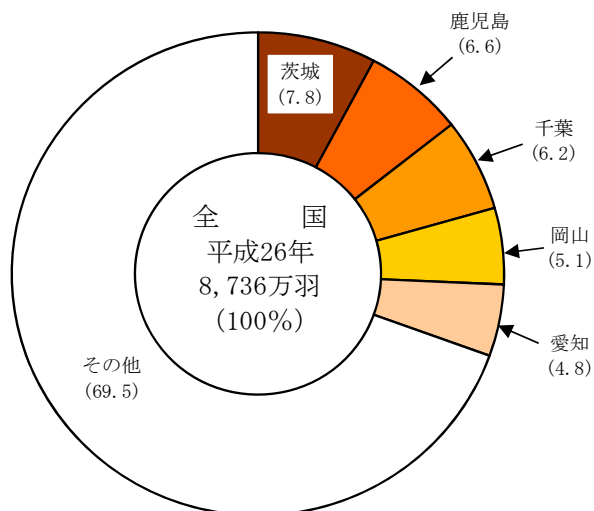


注： 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各図において同じ。）。

イ 廃鶏

都道府県別の出荷羽数割合をみると、茨城県が7.8%と最も高く、次いで鹿児島県が6.6%、千葉県が6.2%、岡山県が5.1%、愛知県が4.8%の順となっており、上位5県で全国の約3割を占めている（図9）。

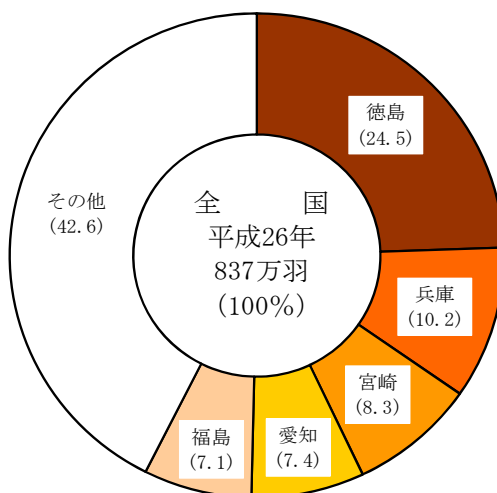
図9 廃鶏の都道府県別出荷羽数割合



ウ その他の肉用鶏（ふ化後3か月齢以上）

都道府県別の出荷羽数割合をみると、徳島県が24.5%と最も高く、次いで兵庫県が10.2%、宮崎県が8.3%、愛知県が7.4%、福島県が7.1%の順となっており、上位5県で全国の約6割を占めている（図10）。

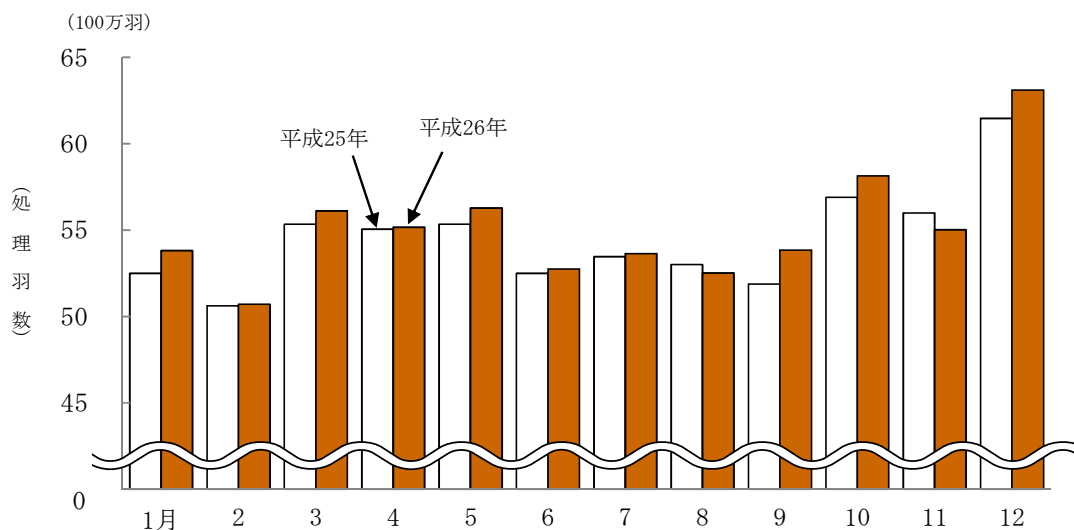
図10 その他の肉用鶏の都道府県別出荷羽数割合



(2) 肉用若鶏の月別処理羽数

肉用若鶏の月別処理羽数は、8月と11月で前年を下回ったものの、ほかの月は前年を上回って推移した（図11）。

図11 肉用若鶏の月別処理羽数（全国）



(参考) 卸売価格（食鳥市況情報）

図12 ブロイラーの月別卸売価格
（東京、中値、もも肉）の推移

